

1 治安情勢と基盤整備の必要性

犯罪のスピード化、広域化が進む中、刑法犯認知件数の減少など改善傾向も見られるものの、依然厳しい治安情勢

- 社会的に弱い立場にある子ども・女性・高齢者が被害に遭う犯罪や県民に不安を与える凶悪事件が依然発生
- 犯罪のグローバル化、サイバー犯罪等の新たな治安脅威に直面
- 減少傾向にある少年非行の中で、刑法犯少年の再非行率が増加傾向にあるなど楽観を許さない情勢
- 経済、社会の変化や流動化の加速等による突発的事案等の発生が否定できない情勢
- 核家族化や高齢化社会の進展により、地域防犯機能や住民規範意識の脆弱・希薄化が懸念

基盤整備の必要性

現状

- 交番による24時間対処態勢が必要な地域に駐在所が点在
 - 同一地域、主要道路付近に複数の駐在所が近接
- ～S29年の県警察発足当時の行政区分を基本とした配置が継続～

課題

- 現場執行力強化に向けた態勢整備が必要
- 人口減少・高齢化が進行する中山間地等は、地域防犯機能の低下が懸念され、駐在所の機能維持が必要



将来の治安情勢に的確に対応できるよう警察基盤を見直し、
限られた人員を効率的・弾力的に運用するシステムを構築

警察署 12署			
広域交番 5か所	交番 12か所	駐在所 154か所	空港派出所 3か所

2 基盤整備の基本理念及び「交番・駐在所適正配置」「パトロール態勢整備」の考え方

基盤整備の基本理念

限られた人員を治安要点や地域の要所に配置し、地域ごとの治安確保態勢を構築

全県的視点に立った警察力の再配分や治安確保システムの構築に配慮

治安情勢の変化に対応した警察力の適正かつ合理的配分

地域に溶け込み、地域社会の実態に即した、きめ細かい警察活動

警察事象に的確に対応する機動力、瞬発力の向上

基本理念に基づき、今後5年間を目途に見直し

交番 24時間対処態勢の下、機動力、瞬発力の発揮を必要とする地域

交番・駐在所配置の基本

駐在所 本署から遠距離にある中山間地等で、治安要点や地域社会の紐帯の役割を担う地域

<視点1> 機動力・瞬発力強化地域
(国道9号周辺及び市街地)

- 警察署に近接する駐在所を署所在地に編入
- 近接する駐在所を統合
- 複数の駐在所を統合の上、交番を新設

おおむね5km圏内の施設を統合

<視点2> 治安要点
(県境の要所)

県境に通じる幹線道路、検問所の位置等を考慮の上、県境の守りとして駐在所を存置

必要に応じて近接する駐在所を統合

<視点3> 駐在所機能維持地域
(中山間地域、沿岸部等)

本署から遠距離にある地域に、地域安全センターとして駐在所を存置

適正配置に向けた3つの視点により、県下全体で40か所程度の駐在所を統合

警察署ごとに態勢を整備し、機動力を活用した効果的な初動活動を展開

効果

- 迅速な現場臨場による被疑者等の確保、犯人検挙に向けた客観的証拠資料の収集など初動捜査活動が高度化
- 交番、駐在所等勤務員が所管区活動に重点を置き、より地域と一体となったきめ細かい警察活動が可能
- パトロール活動が頻繁となり、犯罪抑止の観点からもプラスに作用